

三井物産食料ビジネスにおけるサステナビリティ



MITSUI & CO.

2019年3月27日

三井物産株式会社 食料本部

当社のサステナビリティに対する考え方

三井物産の価値創造



社会が持続可能でなければ、会社も持続可能とはならない。
また、会社はそれ自身が持続可能でなければ、
社会的責任を果たすことはできない。

持続的成長を遂げるための重要な中長期的課題

事業を通じた実現

地域産業・ 生活基盤の充実



地球環境の 保全



資源・素材の 安定供給



5つのマテリアリティ(重点課題)



人権の尊重



ガバナンスと 人材

経営基盤と基軸



当社保有ブラジル農園における肥料投入量最適化の取組

導入した手法・テクノロジー

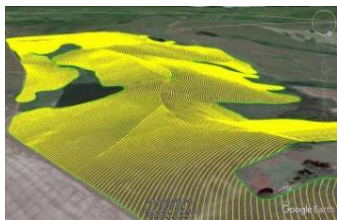
従来の精密農業

- 農地の細分化・代表区画の土壌サンプル分析
- 細分した区画ごとの投入量加減

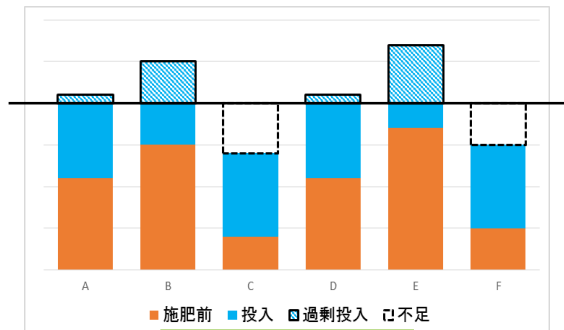


デジタル技術による精密農業の深化

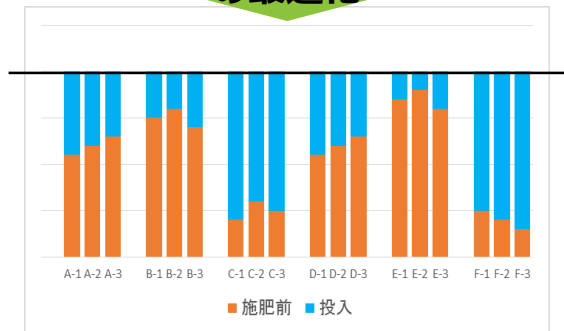
- 衛星写真による農地の植生分析、農地の形状把握
- 収量トレンドや土壌成分の分析結果のデジタルマッピングと肥沃度分析
- トラクターによる自動施肥やシステムでの施肥作業のタイムリーなモニタリング



区画ごとの栄養成分量イメージ



肥料投入量 の最適化



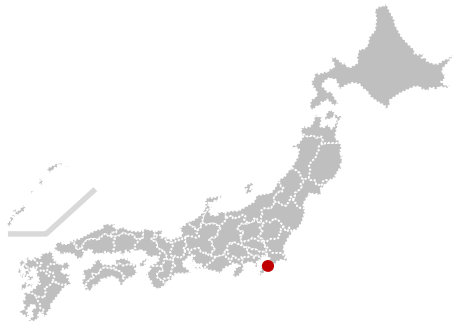
- 区画毎に成分の過剰や欠乏が発生
- 肥料コストの無駄遣い、成分欠乏による成長不良
- 成長速度のばらつきによる非効率なオペレーション

- 化学肥料の適正散布による土壌品質の安定化
- 単収安定化による安定供給への寄与



FRDジャパン(当社子会社)での、サーモン閉鎖循環式陸上養殖の取組

木更津での陸上養殖



木更津⇔東京間:
50km



従来の
供給は…

最大輸入先チリ⇔日本間:
17,332km

輸送用燃料の削減

閉鎖循環式システム



1日当たり換水率:<1%
(人工海水)



半循環式
陸上養殖では…

1日当たり換水率:20-50%
(海水または地下水)

水温調整や換水用電力の削減

抗生物質フリー



抗生物質は基本不要
(閉鎖循環式により病原体が侵入しない)



海面養殖
では…

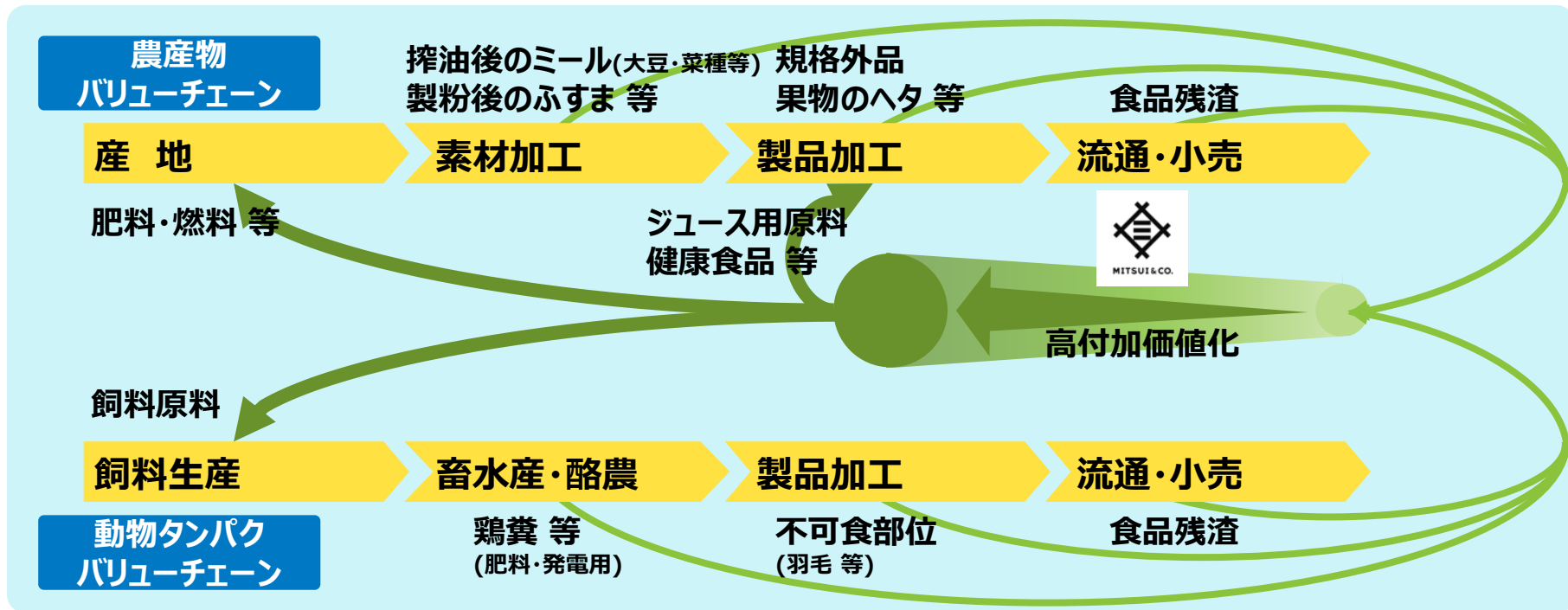
海底に蓄積した抗生物質により
バクテリアが死滅、ヘドロ化の可能性

水資源への負荷低減





当社が関わる副産物有効活用の循環システム



具体的 取組例

- 大豆ミール・菜種ミールなどの消化吸収率を更に向上させ、畜産飼料に活用
- 大豆ミールからレシチンを精製し健康食品などに活用
- カットイチゴのヘタについての果肉を絞り、ジュースを精製

360° business innovation.



MITSUI & CO.